

モデルルートにおける試行について

モデルルートにおける試行について

論 点

自転車走行環境の改善や受入環境の充実、サイクルルートに関する情報発信のあり方等について、モデルルートを設定して検討を実施するために、以下の点についてご議論頂きたい。

- 試行に関する基本方針
- モデルルート設定の考え方
- モデルルートにおける試行の内容(案)

試行に関する基本方針

○モデルルートを設定し、「世界水準のサイクリング環境」構築のための施策や取組を試行の上、検討

「世界水準のサイクリング環境」

「世界標準:世界のサイクリストがみんな楽しめる(バリアフリー)」と、

「世界最高水準:世界的に見ても魅力的なサイクリングを楽しめる(北海道のポテンシャル活用)」

に分けて考える(第1回委員会指摘)

世界標準



すべてのモデルルートが満たすべきもの

- 世界のサイクリストが安全かつ安心してサイクリングできる走行・受入環境が整っている

ルートのご案内看板が設置されている、安全に走行できるための空間が確保されている(河川空間、自転車道、路面表示の活用)、休憩施設(トイレ)が一定間隔で存在し、サイクルラックや工具類が設置されている、ルートの情報提供されている(ITの活用) 等

世界最高水準(北海道のポテンシャル活用)



各モデルルート(地域)の特性を活かして磨いていくべきもの

- 豊かな自然環境や雄大な景観、食、冷涼な気候という、我が国を先導する北海道の優位性を活かした体験が可能

”最北の地”を体験、ファームレストラン、他のアクティビティ(カヌー等)との複合 等

- サイクリストが満足する”サイクリストウェルカム”な地域が形成されている(ホスピタリティ)

ウェルカム施設の目印(フラッグ)、農山漁村(生産空間)でも持続可能な休憩・宿泊環境(農泊や民泊等) 等

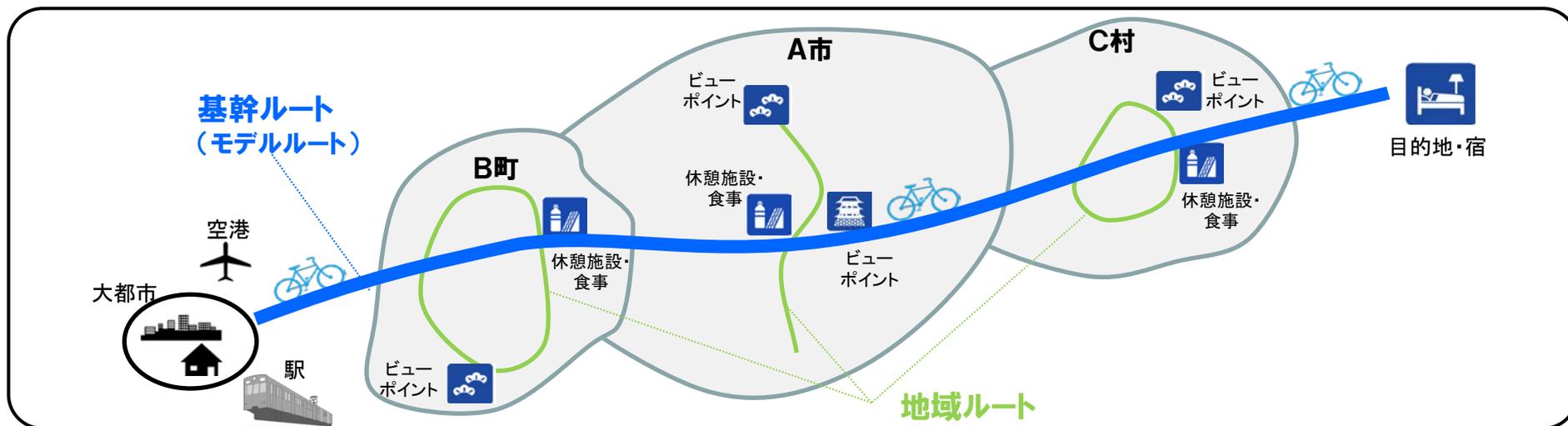
- ここ(北海道・各ルート)でしか味わえないことを世界にアピール

海外からの招聘ツアー、サイクルイベント(見本市)でのPR 等

モデルルート設定の考え方

○モデルルートは、各ルートの骨格となる「基幹ルート」を設定

	基幹ルート(モデルルート)	地域ルート
特徴	市町村をまたぐような骨格となるサイクルルート	(基幹ルート周辺の)地域の短距離のサイクルルート
コンセプト	空港や駅、大都市と目的地を結び、安全・安心に移動できる(案内や休憩等施設が整っている)	基幹ルートから離れているビューポイントなど、隠れた地域資産を楽しめる

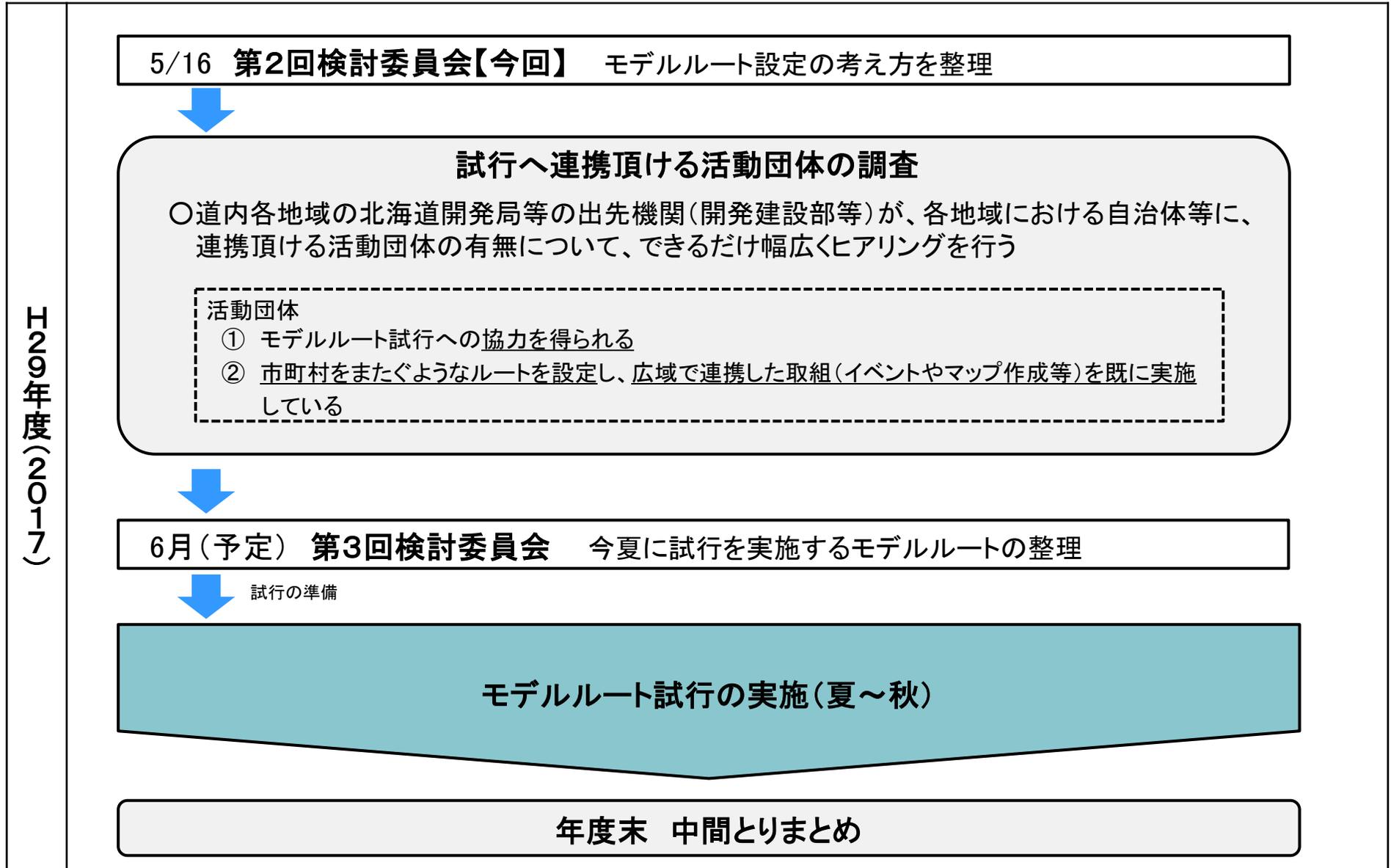


○試行を行う箇所(モデルルート)は、基幹ルートや試行の内容を踏まえ、下記を満たすように設定

- ① モデルルート試行への協力を得られる地域の活動主体が存在
(受入環境の充実や情報発信のためのデータ収集、アンケートの実施等)
- ② 市町村をまたぐような、骨格となるルート(基幹ルート)であること

モデルルート設定の考え方

○モデルルート設定の流れ



モデルルートにおける試行の内容(案)

試行での取組内容

自転車走行環境の改善

資料5

- 外国人でも安心して走行できるルート案内
- 走行空間確保のための道路空間再配分/路面表示等
- 河川空間の利活用

受入れ環境の充実

資料6

- 休憩施設(トイレ)の確保
(民間施設連携(コンビニやレストラン等))
- 休憩施設へのサイクルラックや工具類設置
- 北海道らしい体験の提供
(ファームレストラン、他のアクティビティとの連携等)
- 輸送サービスの向上(広域移動支援)
(空港・駅での乗換スペース設置、手荷物の輸送等)

情報提供・サイクリストとのコミュニケーション

- コミュニケーションサイト
- 外国人サイクリストの招聘、ニーズ調査
- イベントやツアー等の企画・実施、世界へのプロモーション

持続的取組を進めるための体制・役割分担

- モデルルートの試行全体

調査検討事項

資料7

案内看板の視認性やわかりやすさ
走行空間の安全・安心向上
ルート診断

等

サイクリストのニーズや満足度
地域のホスピタリティ状況

事業者/地域と連携した取組手法
北海道のポテンシャルを活かした新たな商品開発の可能性

等

ニーズや満足度(情報発信手法)
海外PRの効果や展開可能性
北海道のポテンシャルを活かした新たな商品開発の可能性

等

実態把握(経済波及、来訪者等)
各体制の役割分担、連携等の課題
予算の確保手法

等

とりまとめ内容

案内看板の仕様
走行空間路面表示の手法
ルート診断手法

等

受入れ環境充実のための手法

関係機関との連携方策

等

コミュニケーションサイトの内容・活用手法
プロモーションの手法

等

ルートの要件、実施体制
全道の取組体制
予算確保手法

等

施策や取組を実施

世界水準のサイクリング環境を構築